

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 56

福岡市東区大字箱崎  
九州大学大型計算機センター  
共同利用掛(TEL.092-64-1101)  
内線 2256

## 目 次

◇ ジョブ制御マクロ変更のお知らせ ..... 1

### ◇ ジョブ制御マクロ変更のお知らせ

- ・ライブラリ用ファイルとして磁気テープを利用する場合

従来は、\$CATALOG,\$CHANGE,\$DELETE,\$UPDATE,\$PRINT,\$PUNCHのマ  
クロで、パラメータ DEVICE=MT を指定して利用していただいていたが新しく、  
\$MTLIBE を作りましたので、今後はこのマクロを利用してください。

DEVICE=MT のパラメータはマクロより削除しました。

#### 1. MTLIBE

1 欄	命 令	オ ペ ラ ン ド
\$	MTLIBE	[ MACROSTEP = n ] [ , OUTPUT = REMOTE ]

#### パラメータの説明

パラメータ	記入したとき	省略したとき
MACROSTEP = n	1ジョブでこのマクロを複数個 使用するとき、異なった番号 (3桁以内の数字)を与える。	番号は何もつかない。
OUTPUT = REMOTE	TSS のときに、結果が端局に 出力される。	センターのラインプリンタ に出力される。

このマクロでは、処理するファイルの定義はしていませんので、利用者が \$MTFILE,  
\$DAFILE を使ってファイルの定義をする必要があります。

例

```
$ MTLIBE
EDIT   MTNEW0,DDOLD10
FIN
$ MTFILE  FDNAME=MTNEW0,FILENAME=QU.MT.ISHIDA,      /
          UNIT=E.010,MTVOLNO=QMU001,FILE=NEW
$ DAFILE  FDNAME=DDOLD10,FILENAME=QU.SC.ISHIDA.00150, /
          UNIT=E.040,VOLNO=E00040
```

## 2. ファイル定義名

ファイル定義名はNEW ファイルの場合はMTNEW $m$ , OLDファイルの場合はMTOLD $m$ となります。  $m$ は  $0 \leq m \leq 99$  です。

## 3. マクロ使用例

### ① ファイルの編集

- ・カードから磁気テープへ

```
$ MTLIBE
EDIT   MTNEW0,*(SC1)
```

1つ以上のプログラム単位

```
EDIT /
FIN
$ MTFILE  FDNAME=MTNEW0,FILENAME=QU.KIMURA.SOURCE, /
          UNIT=E.010,MTVOLNO=QMU001,FILE=NEW
```

- ・大記憶から磁気テープへ

```
$ MTLIBE
EDIT   MTNEW1,DDOLD10
FIN
$ MTFILE  FDNAME=MTNEW1,FILENAME=MT.TANAKA,      /
          UNIT=E.011,MTVOLNO=QMU002,FILE=NEW
$ DAFILE  FDNAME=DDOLD10,FILENAME=QU.SC.TANAKA.00100, /
          UNIT=E.040,VOLNO=E00040
```

### ② ファイルの更新

磁気テープファイルは同一ボリューム上にUPDATEできませんので、必ず出力ファイ

ルが必要です。出力ファイルの fdname は必ず MTNEW 0 で始め、1 ジョブ・ステップ  
でいくつものファイルを同時に更新しようとする時は、以下の例のように、0 で始まり順  
に + 1 されたものとします。

例.

```
UPDATE    MTOLD1(ELM1).....MTNEW0  に出力される
```

```
  :
```

```
UPDATE /
```

```
UPDATE    MTOLD2(ELM2).....MTNEW1  に出力される
```

```
  :
```

```
UPDATE /
```

```
FIN
```

```
$MTLIBE
```

```
UPDATE    MTOLD0(ELM1)
```

```
更新のための制御文
```

```
UPDATE /
```

```
更新のための制御文
```

```
UPDATE /
```

```
FIN
```

```
$MTFILE  FDNAME=MTOLD0,FILENAME=QMT.ARAKI.01,  /  
          UNIT=E.011,MTVOLNO=QMU007
```

```
$MTFILE  FDNAME=MTNEW0,FILENAME=QMT.ARAKI.02,  /  
          UNIT=E.012,MTVOLNO=QMU008,FILE=NEW
```

③ ファイルの印刷

```
$MTLIBE
```

```
PRINT    MTOLD0(ELM1)
```

```
PRINT,D  MTOLD0
```

```
FIN
```

```
$MTFILE  FDNAME=MTOLD0,FILENAME=MT.YOSHIDA.SOURCE, /  
          UNIT=E.013,MTVOLNO=QMU012
```

④ ファイルの穿孔

\$MTLIBE

PUNCH MTOLD0(ELM1)

PUNCH,P MTOLD0(ELM2)

FIN

\$MTFILE FDNAME=MTOLD0,FILENAME=QMT.YAMADA.00001, /

UNIT=E.010,MTVOLNO=QMU013